

公開講演会



食糧危機に立ち向かう日本とASEANの連携 ーサゴヤシ国際プロジェクト

サゴヤシは東南アジアやメラネシアに広く分布し、厳しい環境下でも生育する澱粉資源植物です。最も多く輸入しているのが日本で、主に麺の打ち粉として利用されてきましたが、近年は、食物アレルギーや誤嚥を防ぐ食品材料として利用が広がっています。また、ポストコロナの社会状況、SDGs、気候変動による環境悪化、予期せぬ社会課題の顕在化、そして食料安全保障とフードシステムのレジリエンス強化への期待などから、サゴ澱粉の需要が高まっています。本講では、サゴヤシなど資源植物の主要な生産国であるASEAN諸国と利用国の連携と将来の展望についてお話しします。

開催日：令和7年 **7月26日(土)**

講演時間：14:00～15:30 (90分)

受付開始：13:00～

会場：**名古屋大学アジア法交流館**

アジアコミュニティフォーラム

対面開催のみ。ライブ配信なし。



© 日本食糧新聞社

講師

国立大学法人東海国立大学機構
名古屋大学

農学国際教育研究センター

センター長 江原 宏 先生

定員：150名 参加費無料

対象：一般の方（要事前申込・先着順） Google フォームからお申し込みください

お問い合わせは

<https://forms.gle/aS7v6roVz8KjJXuq6>



放送大学愛知学習センター 公開講演会担当まで

TEL: (052) 589-8333 メール: aichi.sc@ouj.ac.jp

お申し込み方法

①表面記載の Google フォーム

または

②メールでのお申し込み

にて事前申込をお願いします。

E-mail での
お申し込みは

メールタイトルに「公開講演会申込」と記入し、本文に、

①お名前、②ご住所、③お電話番号、④メールアドレス

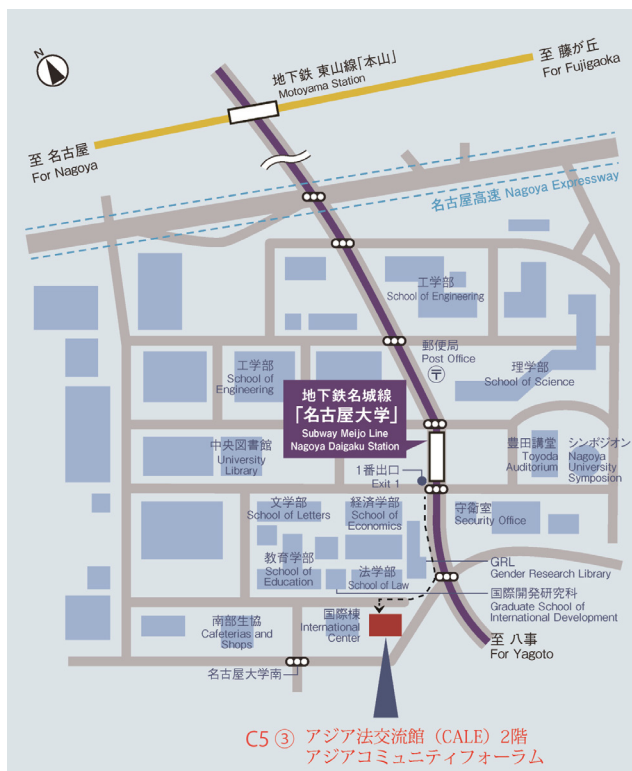
を記入の上 aichi.sc@ouj.ac.jp あてにお申し込みください。

お申し込み締め切り

2025年7月23日(水)

※定員に達した場合で、受講いただけない方には、メールでご連絡いたします。

会場までのアクセス



地下鉄名城線「名古屋大学」駅1番出口

※駐車場はありません。

公共交通機関をご利用ください。

詳細は名古屋大学 Web サイトのキャンパスマップにてご確認ください。

<https://www.nagoya-u.ac.jp/extra/map/>

